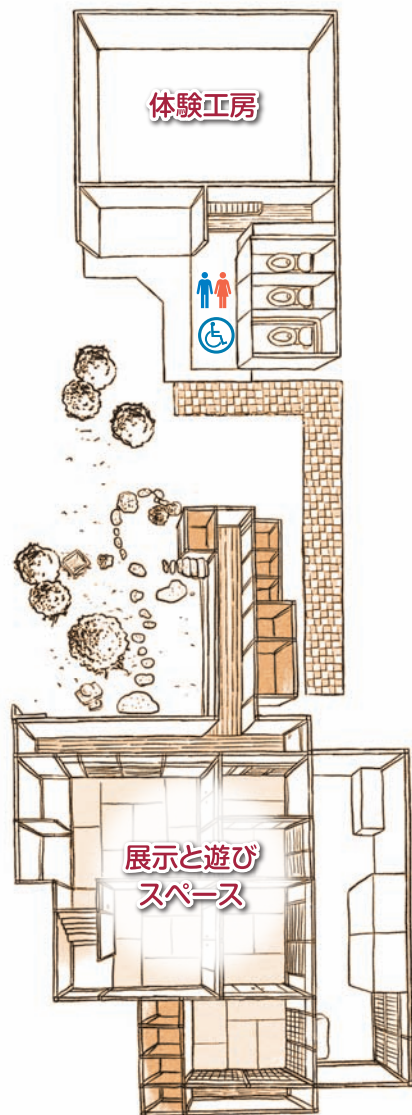


施設の案内について

ならまちの町家で、昔の子供達が楽しんだ「からくりおもちゃ」に触れて遊べ、工房では体験イベント日に工具を使って「からくりおもちゃ」などを作れます。江戸時代にタイムスリップしてみませんか。



延床面積 265.19㎡
構造 木造・二階建(母屋)・木造平屋建(体験工房)

利用あんない

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 毎週水曜日

※その日が休日の場合は、直後の休日でない日

※休日の翌々日(その日、日曜日、土曜日及び休日を除く)

※12月29日～1月3日まで

入館料 無料



周辺の見どころ

杉岡華邨書道美術館

現代かな書壇で活躍し、文化勲章を受章した杉岡華邨氏の作品を展示している美術館です。大作から小品まで書の雅な世界を満喫できます。

なら工芸館

赤膚焼、奈良人形一刀彫などの奈良工芸の優れた作品を展示しています。個展展示コーナーや奈良工芸作家の作品の販売コーナーもあります。また、定期的に各種工芸教室も開催しています。

細川家住宅

和ろうそくを製造していた細川家の住宅であり、19世紀初期の建築物とみられます。昭和45年に奈良県の有形文化財に指定されています。

森家住宅

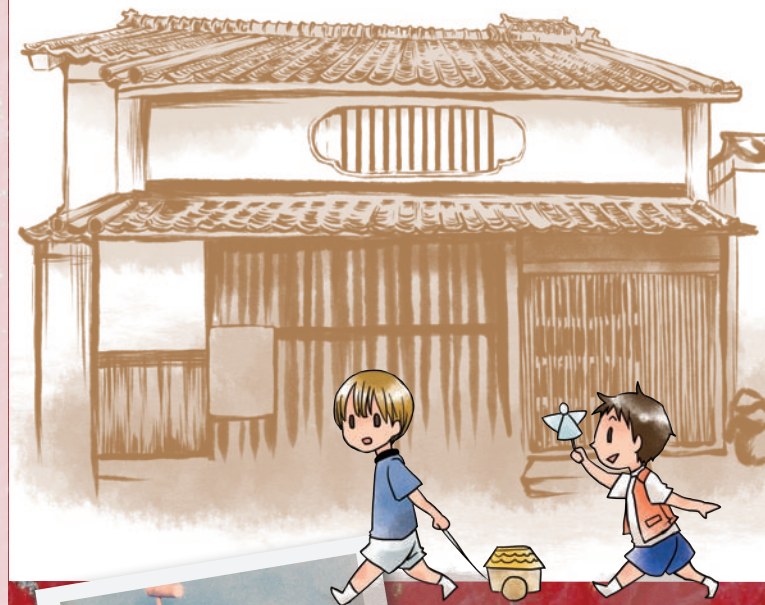
細川家の隠居所として建てられたと伝えられ、明治20年代頃の建築物とみられます。平成16年に奈良市の有形文化財に指定されています。

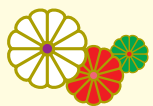
奈良町からくりおもちゃ館

〒630-8338 奈良市陰陽町7番地 電話/0742-26-5656

<http://www.city.nara.lg.jp/www/contents/1332306396673/>

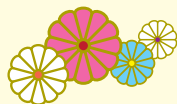
奈良町 からくりおもちゃ館





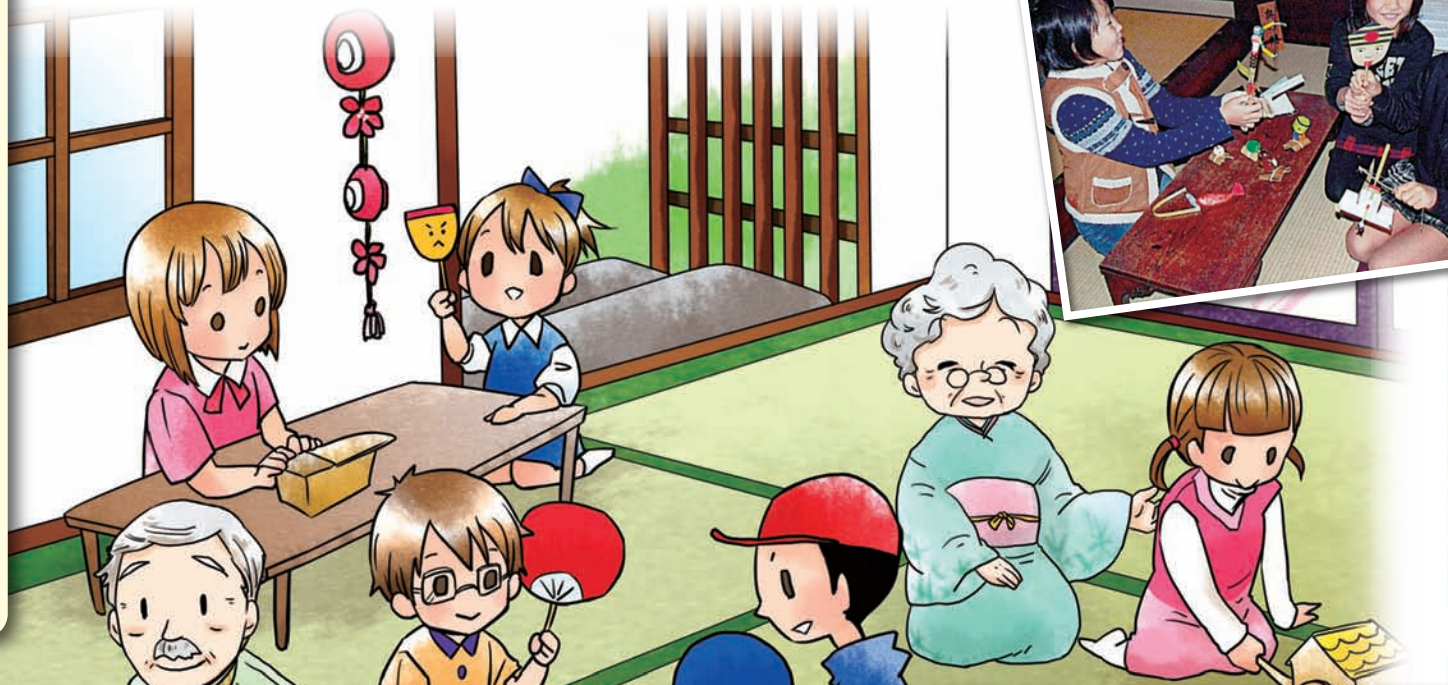
施設の目的

明治初期の雰囲気が残る町家空間のなかで、からくりおもちゃの展示や手に触れて遊んだり、「からくりおもちゃ」を介して、訪れたお年寄りや子ども、観光客などの世代間交流や地域間交流の場として活用することを目的として設置されました。



事業案内

からくりおもちゃは、木・竹・紙・土・糸などの自然素材を原材料に、人間的優しさを加えて製作します。その過程は、ものを作る喜びや手作業の楽しさを発見でき、子どもからお年寄りまでおもちゃを楽しむことができます。又、来館者が奈良町の暮らしや遊びが体感できるよう、おもちゃの遊び方や作り方の指導、町家の解説のほか、奈良町の観光案内を行います。



陰陽町の町名の由来

天体の動きなどで社会や人間の吉凶を占う陰陽師が住んでいたことからつけられた町名。地元では「いんぎよまち」と呼ばれています。

この建物について

明治期に屋号「まつり」という料理屋(うなぎ料理)の隠居場として建てられ、所有者の松矢さんから土地・建物等を寄贈されたものです。

からくりおもちゃについて

4半世紀にわたって、江戸時代のからくりおもちゃ研究をされてきた、元奈良大学教授の鎌田道隆氏から多くの寄贈を受けました。